

「孤独死・孤立死」の実態把握に関する ワーキンググループの設置について

1. 目的

「孤独死・孤立死」に関しては、東京都など一部の自治体において、自宅住居等で亡くなった方に関する統計を作成していることや、これを基にした民間の推計があるものの、その定義や考え方は様々である。

こうした中で、「孤独死・孤立死」について、その実態把握のために必要な用語の定義や把握方法等について、「孤独死・孤立死」に関する研究事例、死亡に関する統計データ等を参考にしつつ、検討を行うことを目的とする。

2. 構成員

「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループ（以下「WG」という。）は別紙の構成員をもって構成する。

3. 議事

- （１）WGは、座長が召集する。
- （２）座長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者に出席を求めその意見を聞くことができる。
- （３）WGは、非公開とする。
- （４）WGの検討過程及び検討結果については、随時「孤独・孤立の実態把握に関する研究会」において報告する。

4. その他

WGの庶務は、（株）日本リサーチセンターにおいて処理する。

(別紙)

「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループ
構成員名簿

(50 音順、敬称略)

【有識者】

(座長) 石田 光規 早稲田大学文学学術院文化構想学部教授 ◎
金涌 佳雅 日本医科大学大学院医学研究科教授
斉藤 雅茂 日本福祉大学社会福祉学部教授 ◎

注) ◎は「孤独・孤立の実態把握に関する研究会」構成員と兼任

【オブザーバ】

警察庁
厚生労働省

【事務局】

内閣府孤独・孤立対策推進室
(株)日本リサーチセンター